



バンビ通信

No.15 令和5年10月



朝晩の暑さも少しずつやわらぎ。夜は、虫の声も聞かれるようになりました。皆様お元気でお過ごしでしょうか。

今年の夏は行動制限が解除され、久しぶりに故郷に帰省したり、海や山にお出かけにされたりした方も多いのではないのでしょうか。

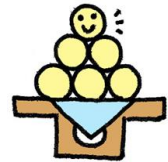
バンビも新園舎が完成し、元の場所に戻り4か月が経ちました。大きな窓から園庭で遊ぶ元気な子どもたちの姿が良く見えます。

これから少しずつ秋に向かう頃に、夏の疲れ出やすい頃ですので、体調管理にご注意ください



4月から9月までの利用状況 診断名の多い順

- 4月 RS ウイルス感染症 溶連菌感染症 急性上気道炎 感染性胃腸炎
- 5月 手足口病 RS ウイルス ヒトメタニューモウイルス ヘルパンギーナ
- 6月 急性上気道炎 喘息・喘息性気管支炎 ヒトメタニューモウイルス ヘルパンギーナ
RS ウイルス
- 7月 急性上気道炎 手足口病 多形成浸出性紅斑 感染性胃腸炎
細気管支炎 長期入院後 てんかん 新型コロナ後
- 8月 急性上気道炎 手足口病 ヘルパンギーナ 感染性胃腸炎 てんかん
- 9月 急性上気道炎 手足口病 気管支炎 喘息性気管支炎 とびひ など



バンビの定員が変わります！

定員：一日4名から**5名**に

開室：月曜から土曜8時から
18時まで（祝日除く）

利用料：一日2000円

給食（昼食・おやつ）希望の方
別途380円

※離乳食・ミルクや
アレルギー食はご持参を
お願いいたします。

予約：電話にて
前日または当日
9時半まで

体調のすぐれない時、回復期にバンビをご利用ください

上気道炎症状や消化器症状等のある時は

- ① 「ご本人やご家族が新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどでない時」
- ② 「当日からの発熱でない時」
- ③ 医師の診察により、「病後児保育室」適用
＝「他のお子様と一緒に過ごして良い時」
＝「隔離の必要がない時」
にご利用いただいております。

☆お子様の体調や病気の種類、病期により、「病児保育室」と「病後児保育室」を上手に使い分けしていただけると良いかと思われまます。ご理解とご協力をお願い致します。

ナオミ保育園病後児保育室バンビ

住所：世田谷区等々力4-13-10
大井町線尾山台駅から徒歩3、4分

電話：03-3701-8311





子どもたちの歯・口の変化に どのように対応したらよいか

今年の夏も「全国病児保育研究大会 in 鹿児島」で学んできました。その中で特に興味深かった「子どもたちの歯や口腔内のこと」について、まとめたものを紹介します。

「最近の子どもたちに多い～お口ポカーン」

医療法人 奥歯科矯正歯科 鹿児島大学教授 奥猛志氏

最近の子どもたちに見られる気になる特徴として、お口がポカーンと開いている子、唇が良く乾く子、食べるときにクチャクチャしている子、など口で呼吸している子が増えている。(保育園児の実態調査より)

本来の口の働き・・・①食べたり飲んだりして、よく噛み＝咀嚼し、飲み込み＝嚥下し、栄養を取り入れる。

②発生、発音、発語する機能を持つ。

☆呼吸とは、鼻から空気(酸素)を吸い込むものであることを忘れないでほしいとのことでした。

口呼吸の原因

- ・口の周りの筋肉(口輪筋)が弱く、口を閉じにくい・鼻水、鼻づまりがあるときなど

口呼吸で困ること(弊害) 鼻呼吸に比べ

- ・口唇乾燥・猫背になる・集中力の低下
- ・咀嚼がうまくできない ・むし歯になりやすい
- ・歯並びが悪くなる ・かぜをひきやすい
- ・前歯の意かみ合わせが悪くなりやすい

子どもの育ちから見た～

「子どもたちが上手に噛める・食べられる・呼吸できるように」なるためには



- ① 新生児期から 授乳時にC型に赤ちゃんを抱っこして、しっかり深飲みしてもらおう。人工乳の時は、**圧をかけないと吸えないような固さと構造の哺乳瓶,乳首を選ぶ。** 母乳の場合、舌を前後に動かして、口だけでなく、首や体全体を使って吸っている。これにより口周囲筋を刺激し、首や体を強くしている。



- ② 6か月以降 口をきちんと機能させる。離乳期に大人がスプーンで流し込まず、取り込めるように促す。**前歯でかじり取る**ことをする、「前歯の骨の成長」を十分促し、かみ合わせ(咬合)を正しく導く。**舌をしっかりと上あご(口蓋)へ押し付ける**ことにより、口蓋が広がることにつながる。



- ③ 手づかみ食べを十分する。**手と口をしっかりと使って食べる**ことにより、咀嚼能力と手指の巧緻性を促し、手と口の協調運動を発達させることにつながる。

- ④ **ずり這いやハイハイをする**沢山することにより、「舌骨上下筋群の発達」を促す。

- ⑤ **大きい子たちもよく噛みましょう!** 脳の働きが活発になります。よく噛むことで、あごの骨や筋肉の成長を助けます。～噛み応えのある食事を! 歯肉に刺激が伝わり、歯を支えている骨や組織が丈夫になります 唾液の分泌を促し、消化を助け、むし歯を予防します。

☆鼻で呼吸することを意識しましょう。

☆鼻水をかむ ・鼻水・鼻詰まりがあるときは治しましょう。

